

SCOPE

Cover photo. Essay / Ikuo Nakamura



サザナミヤッコの裏をかく

サンゴ礁に潜ると、ホーッとため息がでるほど美しい魚たちに出会うことが多い。写真のサザナミヤッコもその仲間だ。こちらはもっと近くで見たいと接近を試みるが、魚たちはそうそう簡単に近寄らせてはくれない。

3mなら3mの距離をきちんとキープし、後ろ姿だけを見せながら優雅に逃げていく。時折チラリとこちらの様子を伺いながら、「まだ来る気なのね」と、まるで僕をからかっているような素振りだ。

「待ってくれー、1枚でいいから撮らせてくれー」と、カメラを構えながら追いかける僕だが、ひたすら逃げる様子からみると、どうやら僕のことを信じてはいないようだ。

「あのカメラのレンズというやつ、本当は大砲かなんかが飛び出すんだろう。騙されてたまるか・・・」

このように、逃げる魚を追いかけて撮影に成功した例は一度もない。しかし、相手の裏をかくて撮影に成功したことは何度かあった。このサザナミヤッコも、さんざん逃げた割にはいとも簡単にカメラの前に現われた。手を伸ばせば触れんばかりの距離で撮影ができた。

その秘訣は餌である。砂地にころがる石ころの周りを多少掘り返すだけで、砂の中からエビやカニなどの甲殻類が現われると思い、すっ飛んで戻ってくるのだ。

こうなるともう撮り放題だ。魚というのは食事に対しては本当に食欲だが、餌がないと知るとアツという間に姿を消してしまう。裏をかいているのはどっちなのか、なんだか解らなくなってきちゃった。



©IKUO NAKAMURA

Profile

中村 征夫

(なかむら・いくお)



1945年 秋田県生まれ。20歳のとき自己流で潜水を始め、撮影プロダクション水中造形センターを経て77年よりフリーの水中写真家に。著書・作品集は『全・東京湾』（海中顔面博覧会）『白保』（情報センター出版局）、『ガラバゴス』『水中の賢者たち』（集英社）、『カムイの海』（朝日新聞社）、『海のなかへ』『熱帯夜』（小学館）、『沖縄珊瑚海道』（アスペクト）など多数。第13回木村伊兵衛写真賞、第9回文化庁芸術作品賞、第12回東川写真特別賞、第28回講談社出版文化賞写真賞、ほか受賞多数。

冊子『FIND Vol.24 No.1』掲載記事の訂正について

下記の記事において、2箇所の誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

《新製品》

「デジタルカメラ向け画像処理システムLSI Milbeaut™ M-4シリーズ MB91680」

ページ数	箇所	訂正内容		備考
20	図3 Milbeaut ロードマップ[M-4]	(誤) M-4アルゴリズム FR80コア+160ビットDSP 周辺機能強化	(正) M-4アルゴリズム FR80コア+16ビットDSP 周辺機能強化	—
22	表1 製品機能比較 「MB91680[M-4]」	(誤) 「画像処理関連 MPEG-4」の 対応「○」	(正) 「画像処理関連 MPEG-4」の 対応「×」	「MB91680[M-4]」は、 MPEG-4に対応しており ません。

編集後記

またまた携帯電話の買い替えに迷っています。2年前の機種ですが、調子の悪いところはなく、まだ十分現役。しかし最近、機種を替えると月々の支払いが安くなるのが判明！さらに友人から、おサイフケータイやモバイルSuicaはすごく便利と自慢され、心がグラグラ揺れています。ところが先週、携帯電話のキャリアを替えても電話番号が変わらない「ナンバーポータビリティ」が、年内に実施されるというニュースを聞きました。・・・ということは、替え時はいつ？もう情報に溺れそうです。(H.K)

FIND 2006年4月発行 Vol.24 No.2/No.3 通巻117号
発行 富士通株式会社 電子デバイス事業本部
企画編集 FIND編集委員会
お問い合わせ先 富士通株式会社 電子デバイス事業本部
FIND編集事務局
〒163-0721
東京都新宿区西新宿2-7-1 新宿第一生命ビル
TEL 03-5322-3349 FAX 03-5322-3395
印刷 株式会社シーコーポレーション